

普及活動情勢報告（令和 6 年 3 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

新規就農者の経営安定に向けて ～現地確認及び巡回指導～



聞き取りを行う振興センター職員

2月13日～2月20日までの5日間で、香美市の新規就農者17戸の就農状況の現地確認を行いました。

当日は、香美市役所の新規就農担当、農業改良普及課の栽培及び担い手担当で現地を巡回し、今年の決算や栽培状況を確認し、農業経営上や栽培面での課題を聞き取り、解決策などについて助言しました。

農家からは、露地野菜では土づくりや病虫害防除について、ニラでは1日の温度変化が大きすぎて管理が難しいが、どうしたらいいか等の相談がありました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と協力しながら、新規就農者の早期の経営安定を支援していきます。

シシトウ産地の意見集約を！ ～南国シシトウ4部会合同役員会～



産地としての意見集約を行う各部長、JA、振興センター職員

2月21日、JA高知県土長地区南国営農経済センターで、南国シシトウ4部会合同役員会が開催され、各部長及び関係機関職員11名が参加しました。

今回の合同役員会は、県域のししとう販売会議に向け、南国地区の意見集約を図る目的で行われ、出荷規格や出荷形態の変更等について協議しました。

農業改良普及課からは、非辛みシシトウの現地栽培試験の中間結果を報告し、産地ビジョン作成を提案しました。ビジョン作成には、生産者にも必要性が理解され、来年度から作成することになりました。

今後も、定期的に合同役員会を開催し、産地の意見集約を図るとともに、産地ビジョン作成に向け支援していきます。

活動成果と次年度の計画を共有 ～第2回中央東地区農業改良普及推進協議会～



委員からの質問に答える普及指導員

2月26日、香美農林合同庁舎において、農家委員及び関係機関、農業改良普及課職員等39名が出席し、令和5年度第2回中央東地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

農業改良普及課からは、令和5年度の普及活動進捗状況と新たに作成している令和6年度の普及計画の概要を説明しました。

農家委員からは土地利用型農業への取組、非辛みシシトウの普及、ミカンのドローン防除、データ駆動型農業の推進、外国人雇用など活動に対する様々なご意見をいただきました。

農業改良普及課は、次年度の普及計画に反映させ、課題解決に向けて取り組んでいきます。

ドローン防除ってどんな感じ？ ～露地みかん部会せん定とドローン防除実演会～



ドローン防除実演を見学する生産者

3月1日、5日、7日、12日にJA高知県香美地区露地みかん部会で、現地研修会が支部ごとに開催され、のべ71名の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、せん定の実演を行い、今後の栽培管理について指導しました。せん定の実演では「この枝はどうすべきか？」について、生産者同士でも活発な議論がありました。ドローン防除の実演では、「防除が楽になる、効果があるなら是非使ってみたい」「虫の防除にはまだ課題があるな」等の声があり、ドローン防除の実用性に高い関心が示されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、露地みかんの安定生産に向けて支援します。

どうやって切るんやろう？ ～温室金柑研究会せん定講習会～



新規就農者にせん定をして
みせるベテラン生産者

3月11日、JA高知県香美地区果樹部温室金柑研究会せん定講習会が開催され、6名が出席しました。

農業改良普及課は、切るべき枝や同年枝の扱い方について実際にせん定を行いながら、解説しました。新規就農者の「ここはどうやって切りますか？」といった質問に対して、ベテラン生産者がなぜそうするのかを説明しながら実演してみせ、研究会内での技術の継承が行われました。

農業改良普及課は、これからも栽培管理技術の向上に向けて支援します。

早め早めの防除を！ ～香美市逆川地区の水稲栽培講習会～



生産者に説明する振興セン
ター職員

3月15日、香美市の逆川地区公民館で、逆川地区水稲栽培講習会が開催され、生産者12名が参加しました。

農業改良普及課は、稲の病虫害（ごま葉枯病、ウンカ類）及び除草について指導しました。

生産者からは、ごま葉枯病については「土づくりが大切やね」という声や、ウンカについては「発生状況を早め早めに知らせてほしい」という要望がありました。

今後も、農業改良普及課は、関係各機関と連携し、適宜、情報提供を行います。